

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2024年2月26日

事業所名:こぐまの森明石

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	基準に基づき十分に確保している。	・園庭があると嬉しいが、よく戸外遊びをしてくれるので満足している。 ・部屋のスペースはあまりない気がするが、外遊びもよくしてくださっているので満足している。	室内のスペースのみだと活動範囲が限られてしまうため、日中は毎日戸外活動を取り入れております。公園や遠足、バルコニーでの水遊びなど様々な場所で十分に身体を動かして楽しんでいただいております。
	2 職員の適切な配置	適切な配置を行っている。	・送迎時、ドライバーだけでなくもう一人スタッフが乗車してほしい。チャイルドシートやシートベルトを外してしまう子どももいる中でドライバーだけでは安全を守れないと思う。	危険と判断した場合は添乗をつけております。今後も子どもたちの安全第一に送迎を行って参ります。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	各所に安全な囲いやドアを設けている。入口にはオートロックを設備。	子供の目の届く範囲に余計なものがないので、安全に過ごせている。	今後も安全にはしっかりと配慮し、支援を行って参ります。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	朝夕の掃除、消毒などを徹底している。	・掃除が行き届いているので、いつも綺麗です。 ・もう少し換気をした方がよい。	安心して過ごしていただけるよう室内を清潔に安全に保ちます。換気についても会議で共有し、安全な範囲内で行っております。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎月、振り返りレポートを全員提出。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は実施していない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎月、目的に合わせた会議や研修を実施。毎年研修も行っている。(救命講習や虐待防止研修等) その他外部研修も参加。		
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	入所時の面談やその後の面談、日頃の課題に基づき、計画表を作成している。作成完了後、会議にて職員全員で目標を共有。	当方の話を詳しく聞いた上での支援計画を立ててくださるので安心して利用できる。	今後も保護者の方々と面談を行いながら支援内容、計画を作成して参ります。私どもにとってもお子様方の成長はひとつひとつが大変喜ばしく、モニタリング会議の際も職員の愛情がたくさん感じられます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日頃の子どもの状況を観察・把握し、子どもに合った個別および集団活動を組み合わせた計画表を作成。	子供をよく見て、性格、特性に応じた対応をしていただいている。	今後も一人ひとりの気持ちに寄り添った支援を行って参ります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	毎月おたよりやカリキュラム表をアプリにて配信。		
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の目標を職員全員が把握し、個別療育や集団生活の中でそれぞれの目標に合わせて支援を行っている。	・計画はちゃんとあるにしても、実際ちゃんとそれが実践されているのか謎です。	一人ひとりのお子様の目標に基づき、支援を行っております。より保護者の方々にも理解していただきやすいよう支援内容の共有を徹底して参ります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	1日毎に午前と午後でカリキュラム(活動プログラム)を分けて設定している。個別療育、制作、机上課題、運動、SSTなど。		
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園や小学校の長期休暇中はご要望に応じて、午前からの療育も対応。		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	四季や月などに応じたイベントや(節分、クリスマス会、夏祭り、運動会など)、1日毎に異なるカリキュラムの実施。	・毎日のプログラムが違うので飽きることなく通っています。 ・プログラミングやサイエンスが楽しいみたいです。	今後も様々なイベントやカリキュラムを行い、楽しんでいただけるよう努めて参ります。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員間の連絡網にておたよりやカリキュラム表を確認。事前に支援内容の確認、役割分担を行っている。専門の先生が来られたら子どもたちの変わった様子や気になることなど随時相談。		
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日報により各職員間で気づいた点や注意点を共有している。常勤職員が多いので日頃から口頭でも情報共有は徹底している。		
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日報に日々の様子を記入し、児発管の検閲を得ながら継続実施している。健康面(体温等)も記録。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	4月と9月に見直しを実施している。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	必要のある場合は相談支援事業所と連絡を取るなどし、関係機関と情報共有している。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者がいない。	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者がいない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校や公的な児童発達支援センターからは情報を得ている。幼稚園や保育園へご見学に行かせていただいたり、担任の先生と電話で情報を共有している。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	放課後等デイサービスでの様子や気になる点、支援計画書の内容などを情報提供していく。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	積極的に受講している。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	隣に系列の保育園があるため、イベントや戸外活動など定期的に交流機会がある。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	イベントの際に地域の方々との交流の機会を設けている。		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書、契約書、パンフレットなどで、見学時や入所時に説明している。		
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	作成前に面談。計画書作成後に手渡し、必要に応じて説明。		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	特別に時間を設定していないが、ノートや電話を通じ支援の方法を説明したり成功事例を報告することはある。		
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡アプリに詳細(写真付き)を記載するとともに、送迎時の会話で共通理解が図れるよう努めている。	・アプリを通じて子供がどのように過ごしたのか写真付きで報告があり分かりやすい。 ・送迎時はあまり話せないでアプリでしか様子がわからない。 ・送迎のドライバーさんはあまり本人の様子を知らないだろうし、聞くことができない。毎日電話するわけにもいかないし、事業所に行くこともほぼないので、誰に子供のこときいていいかわからない。	引き続き連絡アプリにてお子様の様子をしっかりと共有させていただきます。施設長等も送迎には行かせていただいているのでお子様の情報は今後も共有させていただきますが、送迎中についてはどうしても時間が限られてしまうため、いつでもご連絡をお待ちしております。お電話や決まった面談日以外でも早急にご対応させていただきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	電話をいただいたり、送迎時に相談を受けることがあるので、施設長等が適宜対応している。	・面談を増やしてほしい。	ご希望に沿っていつでも面談は可能です
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度、障がいのあるお子様の子育てをされた方々4名の方々にご協力いただきお話し会、グループワークを開催。こぐまの森の保護者の方限定でご案内。希望者のみ出席。	他の児童の父母がどんな対応をされているかなどの話も聞いてみたい。夫が発達障害について、受け入れている部分もあり、難しいとは思いますが、親同士共感し合えるのではないかと思います。	今年度保護者会を開催し、ご参加いただいた皆様から喜びのお声をたくさんいただいたので今後も定期的に関係を検討しております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情連絡先を契約書に記載。法人全体で策定した『苦情処理対応マニュアル』があり、それに沿った体制、手順で迅速に対応する。	・利用し始めて該当するようなトラブルがおこっていないためわからない。 ・子供がイヤイヤ言っていた時期はより子供に気を付けて接して下さって、親の私にもよく話して下さいありがとうございました。	安心して通所いただけるよう 今後もお子様、保護者の方々の気持ちに寄り添いながら 支援を行って参ります。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	イラストや写真、マカトン方式で対応している。保護者の方々とは連絡アプリにて一人ひとりの様子を写真付きで共有している。保護者の方からのご連絡もアプリにて手軽にしていただけるシステムになっている。	・アプリや送迎時以外でももう少し話ができる機会があると嬉しい。 ・利用予定日の希望がコドモンでできるようになってほしい。 ・連絡帳の内容が薄い気がしている。	保護者の方々とのコミュニケーションや情報共有を徹底してまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	行事内容や事業所の予定を定期的に発信している。えんフォト(写真)でこぐまの森の様子がたくさん見られるようになっている。毎月更新。		
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員全員、重要性を認識し保管に注意し対応している。また秘密情報漏洩禁止契約書を提出させ退職後についてもケアしている。		
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	法人全体で策定したそれぞれのマニュアルがあり、それに沿った体制、手順で迅速に対応する。保護者に緊急時の避難場所や連絡網のしおりを渡す等周知徹底。感染症の一覧(感染症名、感染しやすい期間、登所の目安が記載)がある治癒証明書も入所時に配布		
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を行っている。		
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	法人全体で策定した『虐待防止マニュアル』があり、法人全体で講師を招き年に一度全員が参加で虐待防止研修を行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
子の 対応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	やむを得ずにしても行わなければならないような該当児童はいない。	
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	入所時に保護者から情報を得ており、系列化の管理栄養士の指示に基づく対応をしている。	
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	発生した場合はヒヤリハットの記録様式に記述し、理事長や児発管をはじめ職員全員で共有し再発に備えている。	